

平成 30 年 12 月定例記者会見

【12 月 3 日(月)午後 1 時 30 分／4 階特別会議室】

会見項目

- 1 豊かな心を育む取り組み「児童生徒交流事業」について (学校教育課)
- 2 宮古市墓園の利用者募集について (総合窓口課)
- 3 第 10 回宮古地区高校生研究・意見発表会について (産業支援センター)
- 4 東日本大震災文化芸術復興事業 劇団ゆう「美女と野獣」公演について (文化課)
- 5 第 47 回元祖宮古鮭まつりについて (観光課)

会見内容

別紙資料 1 ～ 5 のとおり。

記者との質疑

朝日新聞記者

資料 1 について、室蘭市との中学生意見交流会は、単発なのか継続して行っていこうとするものなのか教えてください。

市長

今年の夏に予定していたイングリッシュキャンプが台風で実施できなかったため、それに代わる事業として行うものです。来年以降は、イングリッシュキャンプの方向で考えていますが、まだ決定はしていません。

朝日新聞記者

宮蘭フェリーが就航して半年になりますが、利用実態をどのように見えていますか。

市長

来年三陸沿岸道路の宮古から仙台までが（ごく一部を除いて）開通しますので、それまでは物流は苦戦するのかなと思っています。人のほうは予想よりも若干多いくらいだと聞いています。横の道路ネットワークもできあがりますので、これからさまざまな動きが出てくるものと期待しています。

朝日新聞記者

フェリーのさらなる利用増加に向けて後押しする取り組みとかを何かお考えですか。

市長

いま検討しているところです。

朝日新聞記者

宮古から北海道へ行く荷物は、北海道からくる荷物の半数ほどのようです。どういう

影響だとみていますか。

市長

時間帯もあると思いますが、物の流れが北海道から本州のほうが多いということだと考えます。人については、夜に出港する室蘭からの便は宿の代わりにもできますので、宮古出港の便と差があるのはそのあたりが一因と考えます。

I B C 記者

資料2について、改葬遺骨とはどういうものを指しますか。

市長

例えば、いますでに墓地に遺骨を埋葬している人が別の場所の墓地に移そうとする場合、今回は対象にしませんという意味です。遺骨があるけど墓地が無く納骨できなくて困っている人を優先するということです。

岩手日報記者

弘川駅と八木沢・宮古短大駅が完成したときのセレモニーは予定していますか。

市長

完成してすぐにやるか3月にやるかは三陸鉄道と詰めなければなりませんが、実施したいと考えています。

岩手日報記者

宮古港海戦にかかわる事業は新年度になってから動き出すということになりますか。

市長

新年度に関連予算を盛って、新年度に実施することになります。行政だけではなく民間の方々にも企画に参画していただくような形にしたいと考えています。

朝日新聞記者

キャッシュレス決済の普及が遅れている地域と思いますが、何か支援を検討しているのでしょうか。

市長

そういうインバウンド対策は必要と思っていまして、商工会議所と一緒に頑張って対応していきたいと考えています。

資料 1 豊かな心を育む取り組み「児童生徒交流事業」について

豊かな心を育む教育の推進	「学校教育の充実」を図るため、市では、子供たちの「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」を育む教育を推進している。 昨年度までに実施回数が30回となった姉妹都市・沖縄県多良間村との児童生徒交流事業は、「豊かな心」を育む取り組みの一つである。コミュニケーション能力を育て、相互理解の学びを深めることから、長い間続いている。 また、今年6月22日にフェリー定期航路が開設したのを契機に、北海道室蘭市との交流事業も新たに始まった。6月21日～23日には、室蘭市立みなと小学校5年生80人が来訪し、磯鶏小学校児童との交流学习が行われた。
----------------------------	--

◆平成30年度多良間村交流事業「児童生徒体験交流学习」

多良間村との交流	沖縄県多良間村児童生徒と宮古市児童生徒の代表が相互訪問し、交流学习や体験学習、受け入れ家庭での触れ合いを通して、相互理解を図り、健全育成に資することを目的として、毎年行っている。 今年度は、明日12月4日(火)から7日(金)まで、多良間村の小学生5人と中学生3人が本市を訪問し、宮古市の児童・生徒と交流する。
期日・場所・内容	1日目 12月4日(火) ■対面式 時間＝午後4時30分～ 場所＝イーストピアみやこ市民交流センター1階 交流プラザ ※対面式終了後、多良間村から訪問した児童生徒は、1人1人、出迎えに来たホストファミリーの自宅に向かい、ホームステイがスタート。 2日目 12月5日(水) ■交流学习 場所＝千徳小学校、宮古西中学校 内容＝小学生は千徳小学校で、中学生は宮古西中学校で、各学校の子供たちと一緒に学校生活を送る 3日目 12月6日(木) ■体験学習 場所＝崎山貝塚、県立水産科学館、南澤果樹園 内容＝ホームステイ先の児童・生徒も一緒に、体験学習を行う 9:00～ 縄文の森ミュージアム見学

	10:15～ 県立水産科学館でワカメの芯取り体験 13:45～ 南澤果樹園でリンゴの収穫体験 4 日目 12月7日(金) ■お別れ会（各校で、午前8時ごろ） 場所＝千徳小学校、宮古西中学校 内容＝学校にあいさつのため訪問。昇降口付近でお別れする ■見送り式 時間＝午前8時50分～ 場所＝イーストピアみやこ市民交流センター1階 交流プラザ 出席者＝市長、副市長、教育長、関係者など
特記事項	◎多良間村との交流事業は今回で31回目となる。 ◎年明けの1月7日(月)から12日(土)までは、宮古市の小学生5人と中学生3人が、多良間村を訪問して交流する。
問い合わせ	市教育委員会 学校教育課 学習指導係（☎68－9118）

◆平成30年度宮古市・室蘭市児童生徒交流事業「中学生意見交流会」

室蘭市との交流	宮古・室蘭フェリ一定期航路の開設を機に、北海道室蘭市と本市の中学生が、夏に、「イングリッシュキャンプ」による交流を行う計画であったが、今年度は、台風の影響で中止となった。代わりに今月、「中学生意見交流」において交流事業を実施する。 「中学生意見交流」は、室蘭市の中学生代表が来訪し、宮古市の中学生と一緒に宮古市のまちづくりについて講話を聴き、両市の中学生同士が意見交流を通して、両市の相互理解を深めるものである。生徒の視野を広げ、宮古・室蘭の街づくりに参画する意識とリーダー性の醸成を図ることを目的として行う。
日時	12月26日(水) 午後1時30分～3時30分
場所	イーストピアみやこ市民交流センター2階 多目的ホール
内容	■参加者数 室蘭市内各中学校生徒会代表生徒 7人（各校1人） 宮古市内各中学校生徒会代表生徒 33人（各校3人）

	■交流会次第 13:30 開会 13:45 講話 「宮古市の復興まちづくりについて」（宮古市復興推進課長） 14:45 意見交流 テーマ「宮古・室蘭市のまちづくりのために私たちができること」 15:30 閉会
特記事項	◎「中学生意見交流」は、台風のため中止となった「イングリッシュキャンプ」の代替事業であることから、今年度のみの実施である。
問い合わせ	市教育委員会 学校教育課 学習指導係（☎ 6 8 - 9 1 1 8）

資料２ 宮古市墓園の利用者募集について

概要	市民からの声に応じて、松山地区にある宮古市墓園に墓地区画を増設したことから、その利用者を募集する。
募集期間	１２月１７日(月)～平成３１年１月１６日(水)
受付場所	市役所１階 総合窓口課 市民窓口係
内容	■墓地２４０区画（増設分２３４区画、返還分６区画）の利用者募集 ◆募集期間：１２月１７日(月)～平成３１年１月１６日(水) ◆墓地面積：１区画当たり ３.１９平方_米（約１坪） ◆応募要件：次の墓碑設置条件を満たすこと 【条件①】埋葬していない遺骨を有し（改葬遺骨を除く）、墓碑を設置しようとする人 【条件②】２０２２年３月３１日までに墓碑を設置すること ◆応募方法：所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送または持参して、市総合窓口課へ届けること。応募用紙は、市総合窓口課のほか、総合事務所と出張所でも配布する。 ◆現地見学会：平成３１年１月１２日(土)午前１０時 ◆抽選会：平成３１年１月２６日(土)午後１時３０分／市民文化会館中ホール ※二次募集について 残区画があった場合に、二次募集を行う。二次募集は、墓碑設置条件無しで募集する。二次募集を行う場合は、広報紙に掲載するほか、記者クラブ加盟社には投げ込み資料でお知らせする。
特記事項	◎２３４区画の増設により、宮古市墓園の総区画数は９８６区画となった。 ◎墓地使用料＝２６０,０００円と、管理手数料＝年額３,０８０円は、既存区画と同額。 ◎応募者は、市内に住所または本籍があること、市税の滞納がないことなど、一定の応募資格を有している必要がある（詳細は申し込みのしおりに記載）。
問い合わせ	市総合窓口課 市民窓口係（☎６８－９０７７）

資料 3 第 10 回宮古地区高校生研究・意見発表会について

趣旨・目的	高校生に研究・意見発表の場を提供することで、高校生が意欲的に研究・意見発表に取り組み、主体性や考える力を身に付けることにより、人材の育成を図ることを目的とする。また、高校生の研究・意見発表への取り組み・考えを保護者や地域の企業等、地域の方に理解してもらう。
日時	12月15日(土) 午後1時～3時30分ごろ
場所	市民文化会館中ホール（宮古市磯鶏沖2番22号）
主催等	主催：宮古市 共催：宮古金型研究会
内容	■市内5校6グループが、研究成果等を発表 ○宮古高等学校 「宮古市山口川におけるカゲロウの幼虫の生態について」 ○宮古北高等学校 「宮古北高校の实践 ～震災からの復興に向けて～」 ○宮古水産高等学校 「宮古の真鱈でにぎわいの創出2」 ○宮古商業高等学校 「フェリーでつながる宮古の未来 ～高校生が行う地域活性化計画～」 ○宮古工業高等学校 「競技用ロボット（ファシリティー12号）の製作」 「津波模型班による14年間の活動とこれからの活動」
特記事項	◎本発表会は、審査、表彰は行わず、また優劣もつけず、各発表後に下記講評者1名より講評をいただく。 ・国立大学法人岩手大学 教育学部准教授 いわき のぶよし 岩木 信喜 氏 ・公立大学法人岩手県立大学 宮古短期大学部長 まつだ じゅん 松田 淳 氏 ・宮古金型研究会 副会長 さきひら ひとし 笹平 仁 氏 ・宮古市教育委員会 教育委員 あらや えいこ 荒谷 栄子 氏 ・宮古市 副市長 桐田 教男
問い合わせ	市産業支援センター 産業支援係（☎68－9092）

資料 4 東日本大震災文化芸術復興事業 劇団ゆう「美女と野獣」公演について

趣旨・目的	東日本大震災で被災した地域住民の心の復興を願い、劇団ゆうによる「美女と野獣」公演を開催する。 東日本大震災被災地の復興支援を目的に、市内の児童・生徒、市民へのミュージカル鑑賞の機会を提供する。
日時・場所・内容	■日時 12月16日(日) 開演 午後1時30分 ■場所 市民文化会館 大ホール ■内容 滝沢市を拠点に活動する認定NPO法人劇団ゆうによる、多彩で華やかなミュージカル「美女と野獣」公演。 ◇出演＝劇団ゆう、(友情出演として)千徳小学校スクールバンド委員会 ◇13:30 第一部：スクールバンド演奏 ◇14:00 第二部：劇団ゆう舞台公演
主催	認定NPO法人劇団ゆう宮古下閉伊地区後援会、 宮古市、宮古市教育委員会、みやこ手をつなぐ育成会
特記事項	◎入場料は無料（ただし入場整理券あり。すべて自由席） ◎11月7日(水)から入場整理券を配布中。 【配布場所】 市民文化会館、崎山貝塚縄文の森ミュージアム、市民交流センター2階事務室、田老・新里・川井総合事務所、リアス観光(株)
問い合わせ	市教育委員会 文化課 文化係（☎65-7526） 認定NPO法人劇団ゆう宮古下閉伊地区後援会（☎62-7075）

資料5 第47回元祖宮古鮭まつりについて

趣旨・目的	宮古鮭まつりを通じて「宮古の鮭」をPRし、鮭の販路・消費拡大や、冬期における観光振興に資することを目的としている。
日時	12月23日(日) 午前9時～午後1時
場所	津軽石川河川敷
主催	宮古鮭祭実行委員会
内容	■鮭のつかみ捕り（計4回＝①9:30、②10:30、③11:30、④12:15） 1回1000円のつかみ捕り券を200人に販売（9:00販売開始） つかみ捕りは、50人ずつ4回に分けて実施 ■ステージイベントなど 9:45 宮水太鼓演舞 10:00 オープニング、観光親善大使委嘱状交付式（堀トオル氏）、餅まき 10:30 堀トオル歌謡ショー 11:00 友愛踊り隊歌謡ショー 11:30 鮭ラーメン早食い競争（先着10人。参加料500円） 12:00 鮭汁無料お振る舞い（先着300人） 佐藤千鳥&友愛踊り隊舞踊ショー 12:30 お楽しみ抽選会
特記事項	◎昨年度（第46回）の来場者数は、約5,500人 ◎宮古駅から会場まで無料シャトルバスを運行（往復5本） ◎会場内に宮古鮭まつり小学生図画コンクール入賞作品を展示
問い合わせ	一般社団法人宮古観光文化交流協会（☎62-3534）